

長野県立高等学校評議員設置要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、長野県立高等学校管理規則（昭和31年長野県教育委員会規則第3号）第15条の3に基づき、県立高等学校（以下「学校」という。）に置く学校評議員について必要な事項を定める。

(設置校)

第2条 校長の申し出により、学校に学校評議員を置く。

(定数)

第3条 学校に置く学校評議員の数は、7人程度とする。

(任期)

第4条 学校評議員の任期は委嘱の日から当該年度末までとし、再任を妨げない。

2 学校評議員に欠員が生じたときは、補充することができる。

(委嘱等)

第5条 校長は、長野県教育委員会（以下「教育委員会」という。）に学校評議員を推薦する。

2 教育委員会は、校長から推薦があった者が適当であると認めるときは、学校評議員として委嘱する。

3 教育委員会は特別な事情があるときは、その任期の途中で学校評議員の委嘱を解くことができる。

(運営)

第6条 学校評議員は、校長の求めに応じ、一人一人がそれぞれの責任において意見を述べるものとする。

2 校長の判断により、学校評議員が一堂に会して意見交換を行う機会を設けることができる。

3 校長は、学校評議員の活動計画、活動状況について教育長へ報告するものとする。

4 校長は、この要綱に定めるほか、運営方法及び手続き等必要事項を定める。

(守秘義務)

第7条 学校評議員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また同様とする。

(庶務)

第8条 学校評議員の事務は、各学校で処理する。

附 則

この要綱は、平成14年4月1日から施行する。